

特別展 生誕120年・没後60年 OZU YASUJIRO

# 小津安二郎

世界が愛した映像詩人

2023年6月24日[土]—8月20日[日]

「早春」ロケハン、1955(昭和30)年  
写真提供:松竹株式会社

開館時間:9時30分~17時(入場は16時30分まで) 休館日:月曜日(ただし、7/17(月)は開館)、7/18(火)。\*夜間開館:7月21日(金)17時30分~21時(入場は20時30分まで)

観覧料:一般700(550)円、高大生および65歳以上の方450(350)円、小中生300(200)円

| 中島公園 | HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

\* ( )内は10名以上の団体料金 \*学校の教育活動の一環として観覧する小中高生と引率者、身体障害者手帳などをお持ちの方と引率者などは観覧無料となります。詳細は文学館までお問い合わせください。

北海道立文学館 特別展示室

主催:北海道立文学館、公益財団法人北海道文学館(北海道立文学館指定管理者) 後援:札幌市、札幌市教育委員会  
特別協力:オフィス小津、松竹株式会社 企画協力:築山秀夫

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4 tel.011(511)7655  
<http://www.h-bungaku.or.jp/>

小津安二郎(おづやしましろう、1903-1963)は、日本を代表する映画監督のひとりです。

東京・深川に生まれ、三重県で9歳から19歳まで過ごした小津安二郎は、1923年に松竹蒲田撮影所に入所します。そして、『大人の見る絵本 生れてはみたけれど』(32年)、『出来ごころ』(33年)、『浮草物語』(34年)で3年連続「キネマ旬報」のベストテン第1位を獲得するなど、戦前に映画監督としての地位を築き、そして市民の生活をテーマに自身の表現を確立させていきます。

戦後は全盛期を迎え、『晩春』(49年)、『東京物語』(53年)、『秋刀魚の味』(62年)をはじめ、次々と名作を生み出し、その評価は世界的に高まっていきます。2012年には、世界の映画監督が投票で決める「史上最高の映画 監督部門トップ100」において『東京物語』が第1位に選ばれ、英国映画協会が発行する「サイト・アンド・サウンド」誌に発表されました。

小津のメモリアルイヤーに開催する本展では、小津安二郎の人と作品について、直筆の手紙や書、台本、ポスター、パンフレット、写真、さらには愛用品など数々の貴重な資料により、小津監督の足跡をたどりその全体像に迫ります。

特別展 生誕120年・没後60年

# 小津安二郎

## 世界が愛した映像詩人



1

【会期中のイベント】

### ◆講演会

「小津安二郎と北海道」

7月1日(土)14:00~15:00 当館講堂(無料)

講師:中澤千磨夫(当財団副理事長)

・要申込:6月15(木)9:00から電話受付(先着順/定員50名)

### ◆無声映画鑑賞会

『突貫小僧』 国立映画アーカイブ所蔵作品  
(監督:小津安二郎/出演:斎藤達雄、青木富夫、坂本武ほか/1929年/製作:松竹/14分)

『出来ごころ』

(監督:小津安二郎/出演:坂本武、伏見信子、突貫小僧ほか/1933年/製作:松竹/101分)

7月8日(土)13:30~

札幌エルプラザ3階  
(札幌市北区北8条西3丁目28)  
にて開催(無料)



出演:澤登 翠  
(活動写真弁士)

・往復はがきにてお申し込みください。定員200名  
・応募方法:往復はがきの往信用はがきの裏面にイベント名、住所、氏名、電話番号を、返信用はがきの表面にご自分の郵便番号、住所、氏名を記入して、6月26日(月)まで(当日消印有効)に北海道立文学館(〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号)あてお送りください。1枚のはがきで2名様まで応募可(その際は、2名分の氏名をお書きください)。詳細は返信はがきでお知らせします。定員を超えた応募があった場合は抽選とし、結果を返信はがきにて通知します。

### ◆対談

「今日も今日とて、小津日和」

8月5日(土)14:00~15:00 当館講堂(無料)

対談者:築山秀夫(長野県立大学グローバルマネジメント学科長・教授、小津監督資料収集家)

中澤千磨夫(当財団副理事長)

・要申込:7月20(木)9:00から電話受付(先着順/定員50名)

### ◆常設展のご案内

北海道の文学  
(通年開催)

北の大地に育まれた北海道の文学。自筆原稿や初版本など貴重な資料を展示。詳細はお問い合わせください。  
観覧料:一般500(400)円、高大生250(200)円  
\*( )内は10名以上の団体料金。65歳以上、中学生以下無料。高校生は土曜日無料。

### ◆常設展 文学館アーカイブ「川柳・斎藤大雄の宇宙」

7月11日(火)~10月1日(日) 常設展示室内 斎藤大雄が描き、選んだ川柳の世界を紹介します。

◎次回・特別展のご案内『『スーホの白い馬』の画家 赤羽末吉』9月9日(土)~11月7日(火)  
観覧料:一般700(550)円、高大生・65歳以上の方450(350)円、小中生300(200)円

入館にあたってのお願い

感染対策の観点から皆様に必要なご協力をお願いする場合があります。また、会期やイベント等がやむを得ず変更となる場合もありますのでホームページ等でご確認をお願いします。



2

### ◆上映会

①『東京物語』 映像作品鑑賞のついで

(監督:小津安二郎/出演:笠智衆、東山千栄子、原節子ほか/1953年/製作:松竹/135分)

6月25日(日)13:30~ 当館講堂(無料)

・要申込:6月11日(日)9:00から電話受付(先着順/定員50名)

②『東京暮色』

(監督:小津安二郎/出演:原節子、有馬稲子、笠智衆ほか/1957年/製作:松竹/140分)

7月23日(日)13:30~ 当館講堂(無料)

・要申込:7月6日(木)9:00から電話受付(先着順/定員50名)

③『秋刀魚の味』

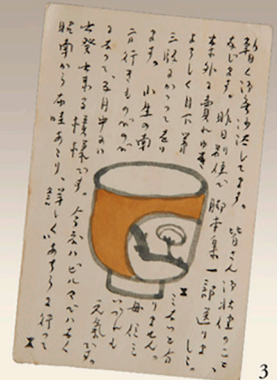
(監督:小津安二郎/出演:岩下志麻、笠智衆、佐田啓二ほか/1962年/製作:松竹/113分)

7月29日(土)13:30~ 当館講堂(無料)

・要申込:7月13日(木)9:00から電話受付(先着順/定員50名)

▶「無声映画鑑賞会」、「上映会」(①~③)の冒頭に、中澤千磨夫氏が上映作品について解説いたします(約10分)。

- 1 『麦秋』ポスター、1951(昭和26)年 築山秀夫氏蔵
- 2 『東京物語』スチール、1953(昭和28)年 写真提供:松竹株式会社
- 3 兄・新一あてはがき、1943(昭和18)年 江東区古石場文化センター蔵
- 4 『秋刀魚の味』パンフレット、1962(昭和37)年 築山秀夫氏蔵
- 5 色紙「大塔の宮のうしろの麦畑」小津安二郎書 築山秀夫氏蔵



3



4



5

## 北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

- 地下鉄南北線【中島公園駅(出口③)】または【幌平橋駅(出口①)】から徒歩6分
- 市電【中島公園通】から徒歩10分
- JRバス・中央バス【中島公園入口】から徒歩4分

【お問い合わせ】

tel.011-511-7655

fax.011-511-3266

http://www.h-bungaku.or.jp/

施設設置者:北海道教育委員会  
(教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課(代)011-231-4111)  
指定管理者:公益財団法人北海道文学館

フェイスブック、  
ツイッターでも  
情報発信中!



道立文学館

検索